

外部評価の機能と その展開

行政監視と政策推進

岩淵公二 著 ●A5判・232頁・定価2,100円(本体2,000円)



実効性ある政策を展開していくための 自治体関係者における必読の書！

**外部評価は
ダイナミックな
地域経営を
可能にする**

私が岩手県知事を務めてきた12年間を振り返ると、地方財政は深刻な状況に陥る一方、地方分権の推進や政策アクターの多様化、ローカル・マニフェストの普及など、地域経営の構造が大きく変化してきた時代であった。それらは、住民の政治や行政、政策に対する意識にも大きな変化をもたらしている。とりわけ、ローカル・マニフェストの普及は、地域経営に携わる政治家や行政職員だけでなく、公共サービスに参入する企業やNPO、政策の受益者であり自治の主役である住民の意識と行動に革新を引き起こしたといえる。

そうした変化に対応するため、私は県内外で地域の自立に向けた行動を起こしてきた。地方分権推進の活動も、行財政改革への取り組みも、住民参加の仕組みづくりも、みな地域の持続的発展に向けた挑戦なのである。自立した地域経営を推進するためには、政策形成過程における幅広い政策アクターの参画が欠かせない。とくに、政策の決定に大きな影響を及ぼす評価への参画は重要だ。私はその仕組みづくりとして、政策評価制度の条例化とともに、「県民参加型外部評価」を導入した。政策の執行は行政を柱に展開するとしても、政策の決定に必要な情報は行政外部からも取り入れられる多元的アプローチのラインを確保することが重要である。

本書は、地域の自立に向けた岩手県の挑戦を客観的かつ精緻に追い、地域経営に効果的な外部評価の可能性を明示している。同様の取り組みは、フィールドが変われば展開も異なるかもしれないが、基本的なルールに違いはない。地域経営や政策形成に携わるすべてのアクターが、本書から有効な指針を学び取り、地域の自立と持続的発展に向けて努力されることを期待している。

増田寛也 岩手県知事／ローカル・マニフェスト推進首長連盟代表



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第Ⅰ部 外部評価のポジショニング

第①章 外部評価登場の文脈

- 第1節 理論研究の動向
- 第2節 内部評価へのアンチテーゼ
- 第3節 評価の外部化と住民参加

第②章 関与の局面

- 第1節 評価プロセスと関与レベル
- 第2節 関与の形態と責任

第③章 新たな要請と外部評価モデル

- 第1節 ローカル・マニフェストの普及
- 第2節 政治的インパクトの追求
- 第3節 外部評価モデルとその機能

第Ⅱ部 岩手県における外部評価導入の経緯

第④章 評価制度の導入

- 第1節 事業評価
- 第2節 政策評価

第⑤章 第三者の活用

- 第1節 評価委員会
- 第2節 外部評価のパイロット事業

第⑥章 外部評価の本格導入

- 第1節 補助事業の事業評価
- 第2節 重点施策の総合評価
- 第3節 首長の意味

第Ⅲ部 外部評価の政治的機能

第⑦章 組織マネジメントからの脱却

- 第1節 多様な要請の制御
- 第2節 行動喚起のインパクト

第⑧章 政策推進型外部評価の可能性

- 第1節 政治的意義とその機能
- 第2節 実践の課題と理論的問題